



# 東部町文化協会報

## せせらぎ

第18号  
平成11年12月1日

発行/東部町文化協会  
印刷/東部プリント



### 一年のあしあと

文化協会長 関 義 豊

四月の文化協会の総会に於いて、役員改選により三期目の重責を担うに当り、初心に返り身の引き締まる想いでおります。

本年は協会の常任理事の大半が交替になり、各部会の活動も一層盛んになりその特色が目立って来ております。特に本年は協会費の増額もあり、会員

数の減少も予想されましたが、新加入者も多く会員数は約二千名を維持されております。事業の特色は文化会館を使用した芸能音楽関係はもとより、展示会、作品展等が多くなり、年一回の総合文化フェスティバルの会場も狭い為作品の大きさに制約があり、大作や特色のある作品は文化会館で展示され年間を通したイベントとして定着した感があります。この大世帯の協会活動の原動力である、各常任理事の皆さんに満幅の信頼を置いて、今後の運営と生涯学習を通して文化協会の発展を期してゆきたいと思っております。



## 文化協会この1年の足あと

- 1月 5日 第7回新春書初め大会  
 2月 10日 川柳部会 川柳誌発行  
 21日 第7回東部町邦楽部会発表会  
 3月 3日 雛祭り雛人形展  
 5日 書道部会 会員展  
 7日 第20回東部町舞踊発表会  
 13日 謡曲東信連合発表会  
 19日 平成10年度第3回常任理事会  
 22日 第49回東部町美術会会員展  
 4月 15日 文化協会総会  
 17日 大田区・東部町 交流囲碁大会  
 18日 同上  
 25日 第4回香東会書道展  
 ♪日 第20回民謡部会 発表会  
 28日 いきいき生涯学習塾開講式  
 5月 12日 盆栽部会 盆栽展  
 6月 1日 「せせらぎ」第1回編集委員会  
 8日 盆栽部会 さつき展  
 27日 第30回聖風流東部支部吟道大会  
 7月 3日 第20回記念東部混声合唱団発表会  
 14日 短歌部会 蒲公英研修歌会  
 25日 棋道部会 文化協会長杯争奪囲碁大会  
 8月 20日 第4回東部町カラオケ部会発表会  
 31日 平成11年度第1回常任理事会  
 9月 8日 田楽座公演  
 11日 写団SFC写真展  
 26日 陶芸部会 炎群展  
 29日 役員研修会 (県立歴史館見学他)  
 10月 16日 絵画部会 東部町美術会信州風景画展  
 17日 前進座公演  
 29日 東部町総合文化フェスティバル  
 30日 同上  
 31日 同上  
 11月 6日 TNSジャズ定期演奏会  
 21日 東部町短詩型文学祭  
 12月 1日 会報「せせらぎ」第18号発行

陽春の四月十五日、東部町文化協会の定例総会が開催されました。本年は各役員任期満了の年に当たりますので、総会の席上に於いて新役員

の選出並びに承認が行われました。

新役員は、次のお名前は、次の通りです。今後文化協会の活動は益々多

岐に渡ることに予想されますが、地域の文化芸術発展のために、一層のお力添えをお願いいたします。

又、退任された、前副会長の佐藤利秋さん及び前監事の柳沢芳夫さんには、二期間に渡ってこの要職を歴任され、文化協会発展の為の大きな力となつて頂きましたこと

### 平成十一年度 東部町文化協会

#### 新役員紹介

を、この紙面を通じて、心より感謝とお礼を申し上げます。

我が文化協会も、今やクラブ数二百二十会員二千有余を数え、今後益々の発展が期待されます。

### 新役員

文化協会	会長	関	義豊	短歌部会
副会長	福島	慎雄	謡曲部会	
副会長	小林	俊子	手芸部会	
副会長	土屋	征志郎	合唱部会	
副会長	佐藤	充子	華道部会	
監事				
監事				
同				
同				
同				

昨年七月に、東部町囲碁クラブ主催による「文化協会会長杯」戦が開催されました。この時、文化協会の関会長から「大田区休養村とうぶ」が開設されたので、これを機に囲碁を通じての交流を企画できないか、とのお話がありました。町役場の関係者の御協力により、大田区の囲碁同好会との連

# 大田区・東部町 囲碁交流大会報告

棋道部会 塚田悦郎



絡がとれ、大田区囲碁同好会の橋さんと当クラブの田中政徳さんの御尽力の末、ようやく実現の運びとなりました。

○ ○ ○ ○

募集前は泊りということもあり、双方あわせて三十人位かと予想していましたが、先方から女性が三人も出場されるとい

伝が効いたのか、大田区から十八人、東部町から三十二人、合わせて五十人の申込みがあり、うれしい悲鳴でした。

四月十七、十八日の両日開かれた大会には、東部町助役、町文化協会長からお祝の挨拶をいただき、初日に団体戦を、二日目に個人戦を行いました。

結果は、団体戦は東部町の十二勝二十二敗、翌日の個人戦も一位から四位まで大田区と、遠来のお客様に勝を譲りました。敗因は、やはり女性の存在との声が専らでした……？しかしながら、初日夜のお酒の量と自由対局では、むしろ我が町が圧倒していたことをつけ加えておきます。

今回の交流会は初めての事でもあり、日程、費用、部屋割等多々行き届かない点もありましたが、出席者の皆さん及び役員の方々の大変な御助力のお蔭で、盛会のうちには終了しました。

最後に、この交流会を機に大田区との囲碁による交流が発展し、更には他の文化交流のきっかけとなる事を念じて報告を終わることと致します。

## 成績

団体戦	
大田区	二十二勝
東部町	十二勝

個人戦	
一位	久保 保 (大田区)
二位	吉瀬登思也 (全)
三位	山本 絹子 (全)
四位	永野 了也 (全)
五位	最上 雅雄 (東部町)

## 展覧会報告

### 自分をさらけ出す苦悩

### 香東会書展に思う

書道部会 山岸一郎

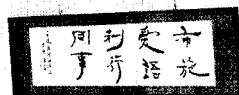
毎年五月の連休の頃、文化会館の展示室をお借りして開催している香東会書展も、本年度四回を数えることになりました。ご承知のように香東会は上田市一円の書道愛好者で組織する香墨会に所属する、東部町の仲間をつくる会です。それで五年ほど前に顔を合わせた時から、それぞれが多少なりとも研鑽している証に、自分たちが何とか発表の機会を設け、大勢の皆さんに観て頂いたりいろいろ言って頂いて、それを糧にさらに努力を重ねたいと考えました。

本当に今もその考えに変わりなく、したがって四回とも同じような展覧会をして来ました。会員も八人ほどで、あまり変わっていません。そんなささやかな書展です。それでも私たちは、これからも続けていきたいと強い願望を持っています。

実はささやかな書展であっても、やはり作品発表は私たちにとって、一回一回苦悩を伴います。できれば追い詰められていく自分から逃げ出したくなることもしばしばあります。つまり自分の限界をつくづく自覚させられ、その自分を何とか踏み越えようとするあがきを、そのままさらけ出すのが作品発表のような気がします。これで

よいと思われる作品はめったに書けません。

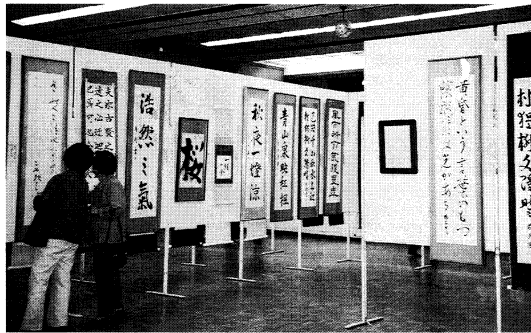
しかし自分の抜け殻みたいなそうした作品は、既に過去の自分、いとおしく思ったりとまどいを感じたりしますが、客観的に見る事ができます。そこから一歩抜け



出した自分を見つめることもできます。

いずれ書展は苦悩を伴いますが、それを乗り越える中に、少しずつ自分の進歩があるように思います。それでこれからも続けたいという訳です。部会の皆様には今後共よろしくご指導ご批評をお願い致します。





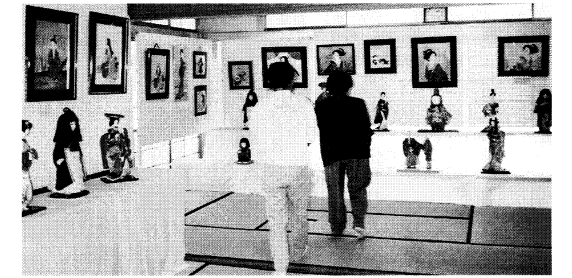
▲迫力満点書道部会



▲芸術の秋、ひとり楽しむ



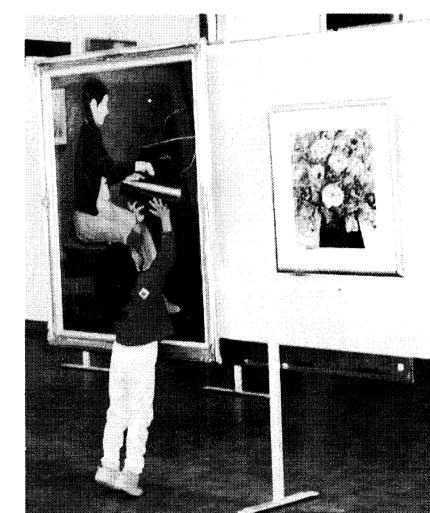
▲子供達の作品も



▲人形展示はお座敷で



▲パッチワークは夢の世界



▲あたしもピアノが弾ける!



▲静かな雰囲気、藤細工

## 総合文化フェスティバルから

10月29日から31日までの間第16回総合文化フェスティバルが開催されました。これはその日のスナップ集。

**総合文化フェスティバルに寄せて**  
彫刻部会 山本 佳一

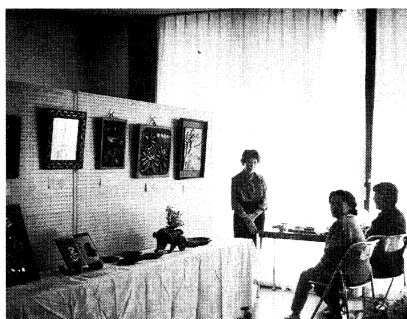
今年の展示は2階と3階のみになって、今まで1階に展示されていた出品物は全部2階になった。そのため会場の配分には苦心されたと思う。鑑賞される皆さんは、1階への階段の昇降や靴の着脱が無くなって喜んでおられたようだ。

作品も年々良いものが出展され、一段と輝いてきた。願わくは各コーナーに「出品目録」など用意されては如何だろうか。

3階の「お茶席」は陽の当たる明るい所でおいしいお茶を頂き、お点前を拝見して心の和むコーナーだった。また来年も皆さんの力作にお逢いできることを楽しみに。



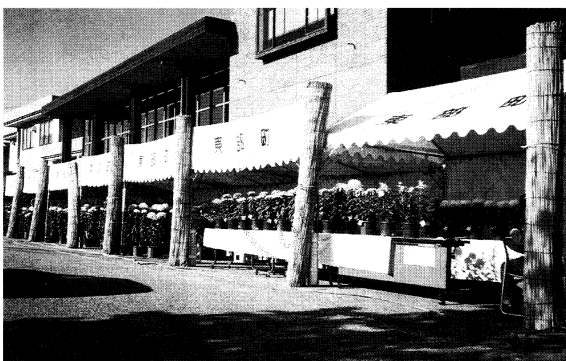
▲車椅子の皆さんがちぎり絵を鑑賞



▲レーザークラフトを鑑賞してます



▲思わず写真に見とれました



▲見事な菊が勢ぞろい



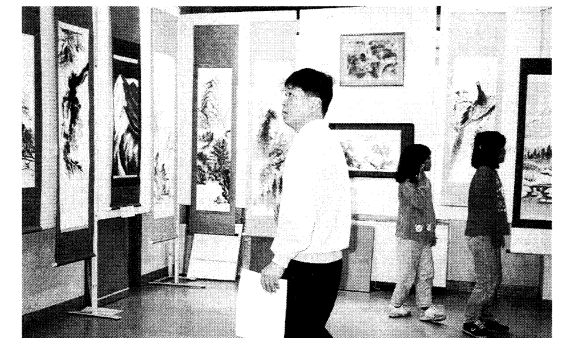
▲入り口で記念撮影



▲ロビーを飾る自慢の盆栽



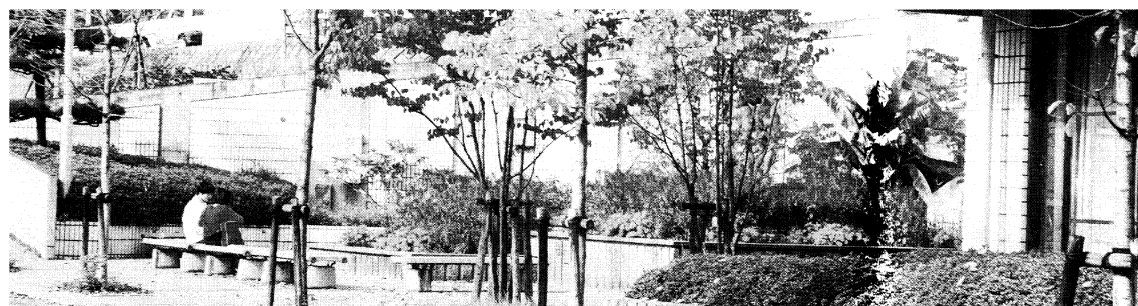
▲ちいさがたの家の皆さんの力作も



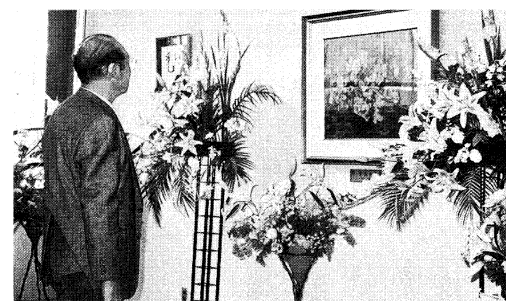
▲力作揃いの水墨画



▲結構なお点前でした。



▲紅葉の美しい会場



▲これがフラワーアレンジメント



▲短歌、俳句、川柳を味わう

# 演奏会・発表会

## 楽しかった

### デイズニーメドレー

合唱部会

七月三日の夜、東部町混声合唱団の創立二十周年記念演奏会が、サンテラスホールで華やかに開催されました。



クラシック、創作歌曲、映画音楽と多彩なプログラムに、マリンバとピアノの器楽演奏やジャズダンスも加わって、楽しいステージが繰り広げられました。

圧巻は第四部のデイズニーワールドで、団員の皆さんの独創的なコスチュームは耳だけではなく目も楽しませてくれました。

圧倒的女性優位のメンバーにもめげずにテノールやバスの男声の堂々たる歌声は、さすが二十年の歴史に恥じない貫禄を示していました。

毎週火曜日にサンテラスホールで練習をしておられるそうですから、歌を愛する男性の皆さんのご参加を願ってやみません。もちろん女性の皆さんも……。

## 盛大な発表会でした

カラオケ部会

八月二十二日、第四回カラオケ発表会が東部町中央公民館で開催されました。年々会員数は増加して今回は百二名の参加となりました。

保科町長をはじめ石川公民館長 関文化協会長をお招きしての盛大な発表会となりました。



4回東部町カラオケ部会発表会

発表会を御覧になつた人達の感想は「楽しそうな雰囲気から一日中見ていたかった。」

「衣装もドレスあり着物など どれもすてきだった。」

「プロの先生の歌も聴けてよかったです。」と皆様に満足していただけたようでした。

参加クラブは十二を数え、それぞれの先生達が熱心に指導してくださるので、会員のレベルはぐんぐん上がっています。

最後に、音楽は人それぞれ好きなジャンルがあるので、自分に合った歌を歌うのは非常に良いことだと思います。そして人前で歌うことで度胸もついてくる気がしますが、これがカラオケクラブに入つての大きな収穫になると思います。

# 吟行会・研修会

## 岳の湯温泉へ

蒲公英短歌会吟行会

短歌部会

七月十四日初夏の緑に心ときめかせ、たんぼ歌会では、初めての吟行会を行いました。行き先は、武石村の岳の湯温泉です。途中ともしび博物館見学しました。

日頃の教室を離れ、外の空気を吸って、会員の親睦を兼ねた歌会はとても有意義なものでした。このよい季節ものをよく見て深く感じとりその感動を歌にしました。とても良い作品がそろいました。皆さんも、毎月第二水曜日に中央公民館で、私たちと短歌を楽しみませんか。



## 飛騨高山への旅・十月二十日

書道部会 麻見 清子

「寒くなったネ」とそんな言葉が交わされるようになったのがつい最近、暑かった日々が終りを告げて秋の行楽シーズンとなり、書道部会も岐阜へ日帰りの旅に出かけました。

道中紅葉を期待しておりましたが、気温の差がなかった為木々はまだ青々していました。始めに今年四月にオープンしたばかりの「光美術館」を訪れ、美しい西洋建築の建物の中は広く大家の絵画、陶芸が展示され一段と溜息をつくものがありました。それから昼食を銀河高原ビルにて、バイキングの食事を楽しみました。

ゆつくり休む間もなく「まつりの森」と伺いました。ここでは高山まつりの屋台のミニチュアと、からくり人形の上演がされていました。又水晶のトンネルでは女性が歓喜の声をあげ、水晶から出るパワーを吸収しようと手を触れていました。車窓より高山の街並みを横目に鍾乳洞へ。全長八百メートルの石灰石の芸術に自然の力の偉大を感じましたが、予定通り日程も済み帰りの車中はカラオケで疲れを癒し、又部会に相応しく書の大先生のビデオ鑑賞。これからの書の技法に役立てたいということになります。

体調を崩す人も無く無事帰宅しました。御協力をありがとうございました。

## ●菊花展の受賞者きまる

総合文化フェスティバルとともに開催された菊花展の表彰式が、十一月二日に中央公民館で行われました。

各賞杯を受けられた皆さんは次の通り。

- 町長杯 依田 勲  
 公民館長杯 半田 栄  
 農協組合長杯 柳沢 廉  
 町長杯 松沢房規  
 八十二銀行田中支店長杯 寺田泰明  
 文化協会長杯 後藤房子  
 教育委員長杯 披村隆夫  
 町議会議長杯 川上義雄  
 菊花会長杯 出浦洋三  
 上田信用金庫杯 土屋節男  
 商工会長杯 小林孝子  
 上田商工信用組合杯 荒井久美  
 優秀賞 祢津小学校

## ●囲碁大会の入賞者きまる

七月二十五日恒例の文化協会長杯争奪囲碁大会が、棋道部会主催で行われました。当日は愛好者の皆さんが多数参加され、A、B両組に分かれて熱戦を繰り広げました。Aグループでは本海野の横山直紀さんがBグループでは長門町から遠征の最上雅雄さんが、それぞれ第一位の栄冠を獲得されました。

入賞された皆さんは次の通りです。  
 Aグループ (協会長杯受賞)

第一位 横山直紀 本海野

## Bグループ

- 第一位 最上雅雄 長門町  
 二〃 関 学 常田  
 三〃 高橋 豊 日向が丘

## ●短詩型文化祭入賞者きまる

十一月二十一日、第八回東部町短詩型文学祭の入賞者が発表されました。受賞された皆さんは次の通りです。

### 短歌部門

町長賞 小河原ときは 日向が丘

教育委員会賞 井沢志津江 加沢

公民館長賞 宇井 充子 日向が丘

文化協会長賞 横沢 鈴子 乙女平

### 俳句部門

町長賞 岩崎 順子 長野市

教育委員会賞 原 不沙

公民館長賞 高橋 綾子

文化協会長賞 渡辺 園美 信濃町

### 川柳部門

町長賞 大日向紋子 祢津

教育委員会賞 中村 通明 片羽

公民館長賞 中村 英福 上田市

文化協会長賞 野本 清魚 佐久市

### 現在詩部門

町長賞、教育委員会賞、公民館長賞

該当作品なし

文化協会長賞 横関 功一 上田市

丸山 尚子 和小学校

## 文化協会役員研修会

身近な歴史を訪ねて



今年の役員研修会は、秋柑の九月二十九日、関会長以下三十四名の参加のもとに行われました。町提供のバスに乗って最初に訪れたのが、上田市神川の尾沢木彫美術館でした。越後の旧家を移築してきたという立派な建物。どっしりとした骨組み、手斧(ちょうな) 普請とでもいうのか、手造り

た壮大な姿に驚きました。続いて麓に立てられている古墳館に入館し、中に展示された多くの展示品を興味深く見学。中でも日本最大級といわれる竪穴式石室の実物大精密模型は、私達を古代の昔に誘ってくれました。

最後に見学したのが、古墳館の隣にある長野県歴史館でした。ちなみにこのあたり一帯を「科野の里歴史公園」と名付けているということでした。

歴史館に入った私達を迎えてくれたのが巨大なマンモスです。首を振り、眼を瞬く迫真の姿。思わず牙に触ってしまいました。これは禁じられた行為です。実はここには、手に触れてみたい物がたくさんあるのです。縄文の村に再現された竪穴式住居の中に吊るしてあったお魚やうさぎ、古代の武人がつれてくる軍馬など、ついそつとさわってしまいそうでした。

展示品は中世、近世、江戸時代から明治へと続き、信州の製糸業の姿から戦時中の私達の暮らしまで、身近な「歴史」が一杯並んでいます。幼い日を思い出している先輩の見学者も、初めて眼にする展示品に興味津々の若い見学者も、感慨はそれぞれですが、忘れてはならないものだという事は共通すると思います。

研修会の締めくくりは森温泉あんずの湯での昼食会で、本日の日程すべてを終りました。

私達の身近な所にかくも多くの「歴史」があるということを知ったのは、この研修会の大きな収穫でした。(編集部)

の仕上げ。説明して下さった尾沢敏春さんのお話では昭和十二年に築造されたものとのこと、つい六十何年か前まで江戸時代の伝統的な技術が越後の山間に生きていたことを知りました。

再びバスに乗った一同は、石川公民館長の軽妙な史跡解説を伺いながら、更埴市の森將軍古墳塚に到着。千六百年もの昔建設されたといわれる前方後円墳の、復元され



## 歌舞伎って面白い

前進座公演と小学生



サンテラスホールで前進座の歌舞伎が上演されるといので、取材に行きました。演し物は創作歌舞伎「上蜘蛛退治」と、こどもにもわかる歌舞伎の解説「カブキの楽しさ」の二本です。ところどころに楽屋落ちなどもあって、楽しい舞台でした。祇津小学校の生徒さんが観覧していましたが、地元の子供歌舞伎のスターたちだというので、引率の先生がこの中に忠臣蔵のお軽や由良之助もいますよと話してくれました。

スターたちの感想としては、「見得」を切るところなどが参考になったそうです。

## 編物教室は面白い

手あみグルーブの紹介を、とのお話があり、紹介させて頂きます。

編物教室は、四部会あります。小林知美と先生に教えて頂き、月に二回午後一時より四時まで、公民館で学んでおります。

一番早く始めたグルーブ名より、もくれん・すみれ・むつみ・ひつじ・各々グルーブ毎に、皆で考えて付けた名前です。

生涯学習会で、先ず採寸・原型起し、基礎編、それからもう十有余年になります。

ベスト、セーター、カーディガン、スーツ等、手に取って教えて頂き、むづかしい模様編の外出着も作れるようになりました。

又小花のブローチ、ベルト、バックなども作り、きれいな出来栄えに大喜び、次の教室が待ち遠しいくらいです。和気あいあいの楽しいグルーブです。

## ハーモニカは面白い

ハーモニカクラブには初級と中級とあり月一回小山定雄先生の御指導で練習をしております。初めはドレミファの吹き方から吹・吸・口の形・そして初めて吹いたのが蛙のうた、キラキラ星、人形、春の小川などでした。

何か一つ楽器が出来たらと思っ入りましたが、まだ楽しい所までには、ほど遠い道のりです。九月には中級の方々と一緒にもみじを吹きました。やはり年数の違いは音色に出ます。初級はまだですが、中級の方は楽しんで吹いておりました。中級の方々は湯葉里館のイベントに参加したり、ちいさがたの家に出かけて色々の曲を吹いてあげているそうです。

ハーモニカ一本を持っていれば、方々に出掛けても大勢の方と、コミニケーションがもてて自分自身にも大きな喜びがある様です。

## 新グループ紹介

新しく加盟された皆さんです。よろしくお願ひします。

書道部会へ	東町書道会	金井甲子夫代表
カラオケ部会へ	西海野カラオケクラブ	上園嘉男代表
ダンス部会へ	祇津カラオケクラブ	上原宏子代表
せせらぎ部会へ	ダンス・アカシア	相場武幸代表
邦楽部会へ	秋桜倶楽部(中国語の学習)	関 学代表
合唱部会へ	モナリザ(お料理の研修)	小山小夜子代表
	尊箏会(ソソソウカイ)	横山道世代表
	くるみ幼稚園母親コーラス	萩原尊代代表
		春原礼子代表

## インフォメーション

12月5日(日)午後2時  
軽音楽部発表会

(サンテラスライブ)  
主催 東部町文化協会軽音楽部会

12月11日(土)午後6時30分

東部町合唱祭

主催 東部町文化協会合唱部会

## 編集部から

今年文化協会の役員改選の年だということで、思いがけず伝統ある「せせらぎ」の編集を担当することとなりました。

初夏六月にスタートして、様々な行事に参加し、会員の皆さんの力作や熱演を観せていただいているうちに、早くも発刊の季節となりました。

それにしても秋という季節は、何と多くの行事や催物があるのでしょうか。正しく「実りの秋」！そしてこの「せせらぎ」が皆さんのお手元に届く頃には、冬がやってくるのですね。そんなことを考えながら、お寄せ頂いた原稿を纏めています。

奥村 直(文芸創作部会)  
田村智枝子(書道部会)  
花岡 冷子(短歌部会)  
岩下千代子(短歌部会)  
岩崎 定子(ちぎり絵部会)